テーマ	***人を支援する知的な空間***
研究名称	知能化空間システムを用いた人の支援

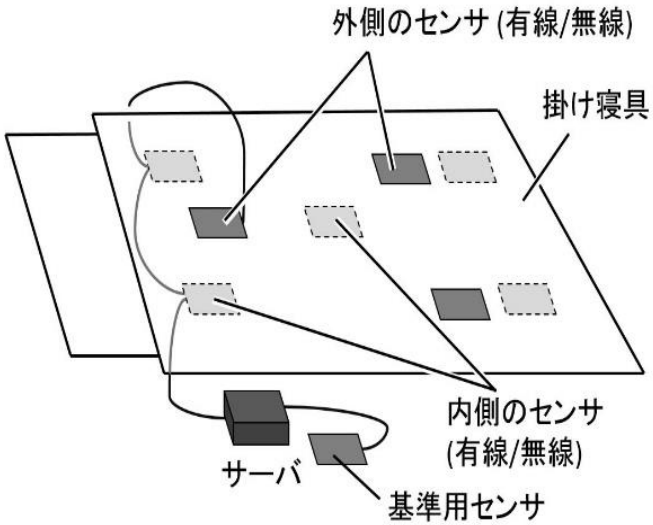
適用分野	行動支援，見守りシステム，システム統合
氏名所属	梅谷　智弘　准教授 知能情報学部 知能情報学科

内容

●特徴：　私たちが活動する場所を様々なセンサで計測し，情報を抽出し知らせることで，遠隔にいる人が必要な情報を得て作業を行えます。この機能を活用することでたとえばベッド上での見守りシステムなど気の利いた空間を作ることも可能になります。本技術は気の利いた空間を作るための基礎となります。

●研究内容：　私たちが活動する場所を様々なセンサで計測し，人の状態を間接的に推定する技術です。人の動きを細かく計測するためには，様々な方法で計測する必要がありますが，大がかりなシステムを作るとコストがかかりますし，プライバシの問題もあります。これに対して，少ないセンサ情報から人の状態を推定することで，支援するために必要な情報を得る方法を研究しています。

　これまで，掛け布団など掛け寝具の各部位の温度，湿度，加速度を測ることで，布団の中で寝ている人の移動や離床などの行動を検出できるシステムを開発しました。本システムは，就寝時での掛け寝具の状況を知ることで，看護，介護，保育での見守り用途が期待できます。さらに快適に就寝できているかどうかを調べられるため，寝具メーカでの商品開発の支援が期待できます。



図：小型センサによる掛け寝具センシングを利用した就寝状態の変化検出

研究室ＵＲＬ：http://www.konan-u.ac.jp/hp/umetani/

キーワード	知能化空間，センシング，見守り
連携方法	■ 講演　□ 研修　■ 研究相談　□ 学術調査　□ コメンテート　■ 共同研究